



複合型サービスケアホーム希望

希 のぞみ 望

ニュース

Vol.16 平成27年1月号

(株)つつじヶ丘在宅総合センター
〒182-0006
調布市西つつじヶ丘2-19-6
第三コーポ横田 1F

☎ 03-5315-5722

1月

謹賀新年

あけましておめでとうございます。

複合型サービス「ケアホーム希望」として、平成25年10月に開設し、無事2度目の新年を迎えることが出来ました。これもひとえに、ご利用者様・ご家族様・そして地域の皆様のご支援ご厚情の賜物と職員一同深く感謝しております。今後も地域密着型として、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様とのふれあいを大切に、一人一人のニーズに合わせたサービスの提供が行えるよう職員一同努めてまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。



病気になっても病人にはならない！

Sじいさんは91歳。

嚥下が悪く、誤嚥性肺炎を起こし〇〇病院へ入院。鼻から胃に栄養を入れる経管栄養を行い、その管を抜かないようにと両手には抑制用の手袋（ミトン）をして、更に体幹に抑制帯で縛られている。家族は「90歳を過ぎてまで、こんな状況はかわいそう」と、かかりつけ医に相談すると『ケアホーム希望』を紹介された。病院で退院にむけてのカンファレンスをし、経管栄養のまま退院。その後の経過をみるため『ケアホーム希望』の泊まりサービスを利用することとなる。今後は鼻からの管を抜き、誤嚥をして肺炎を起こさないように口から少しずつ食べていく予定とし、鼻からの管を抜かないようにと両手に手袋（ミトン）をしていた。しかし3日目にして見事に鼻からの管を抜いてしまった。「もういいよ！」と、鼻に管を入れることを頑なに断り、拒否をした。

家族とかかりつけ医にも相談し、嚥下の良いゼリーなどを少しずつ食べさせ、脱水にならないようにと点滴も行った。はじめは「ゴホッゴホッ」と、むせ込むことも度々あり。吸引吸入を頻繁に行い、誤嚥しないよう細心の注意を払った。

Sじいさんは、「大好きなビールを飲ませろ」と大騒ぎし訴える。家族やかかりつけ医とも相談し、念願のビールを差し出すと本当に嬉しそうに手でしっかりとコップを持ち「ゴクン」と嚥下も良く飲み込んだ。

年も明けた元旦に娘とビールで乾杯できたことは何よりの幸せ！

また、『ケアホーム希望』のじいさん、ばあさんは、「おじいさん、がんばんなさいよ！」と、自分のことのように声をかけ、励ます。

ここでは利用者同士が毎日よくケンカもするし、よく笑い、よく食べ、そしてすぐ忘れる…。具合が良くなると

「私、病気していたの…？」と。

『ケアホーム希望』のじいさん、ばあさんは、日ごろからたくましく生きている。

特効薬は病気になんか負けない「生きる力、だ！！」



2015年も元気に迎えることができました！



毎年、このおせち料理は近所の方からの差し入れです！



今年も...

良く笑い...

良く食べ...

そして...

いやなことは
良く忘れちゃいます...



笑

、わっはっは、ほ

私たち 胃ろう
だけど、毎日
美味しいものを
想像しています

具合が悪くて
寝たきりだけど
こんなにいい笑顔！

ありがとう！

『ケアホーム希望』には、病気をしてもすぐに医者が往診に来てくれるので安心です。



職員も健康診断などでお世話になっているクリニックの先生と看護師さんが、患者（利用者様）の様子を看にも来てくださいます。

今年もどうぞ
宜しくお願いします！



往診医のT医師
昨年は急な呼び出しに
何度も往診しに
来てくれました。

